かわべ

発行
河辺村公民館
編集
館報編集委員会
☎ 河辺 17番
佐川印刷KK
吉田町北小路 ☎２－0600

春ひらく中学卒業

進学率六二％ 就職者の八五％は県内職場へ

今年もまた、進学、就職と喜びもひとしお大きい季節を迎えた、しかし過疎地における人口大移動の時期でもあるので、今回は中学卒業生のゆくえを見てみたい。

本年度の卒業生は六九名（男子三八名、女子三一名）で昨年に比べ一三％多い。

進路状況は、高校進学が三六名おり、うち女子が五五％を占めている。

各種学校の七名も合わせると六二％が進学することになる。

就職者は二六名（男子一六名、女子一〇名）で、このうち一九％が定時制高校へ通うことになっている。また郷土にのこって農業に従事する者は、わずか二名のみであり卒業生の九七％が村外へ流出することになる。

就職先をみてみると、県内が二二名で県外が四名と少なく、年ごとに県外就職は減ってきている。

職種別では、昨年に比べ特にふえているのが建設関係で、減少しているのが繊維関係となっており、技術取得の可能な職業に人気が集まっている。

これからの消防活動に一役とハム愛好者が乗りだす

春の火災予防週間の十六日、河辺中グランドで消防出初め式がおこなわれた。

恒例のハシゴ操法やポンプ操法、表彰状授与などの式典終了後、アマチュア無線による非常時の通信訓練が、岩本政光さん以下四名によって実施された。

このハム資格取得者は村内に二十名いるが、単に愛好者のみの楽しみだけでなく、今後は地域社会に役立つ方法を考えようと、今回はじめてこのような企画がおこなわれたもの。

いあわせた消防団員をはじめ関係者も、冷静な通信光景を見守り今後の活躍を期待した。

河辺村人口動態

（S.52.３月１日現）

世帯数	629
人　口	2,371
男　子	1,189
女　子	1,182

（S.50.10国調）

世帯数	666
人　口	2,368

（S.45.10国調）

世帯数	718
人　口	2,810

表1　就職地および職種状況

職種		修理工	大工	左官	紡績	調理	理美容	看護婦	自営農業	商機	金属加工	計	河辺	大洲	内子	八幡浜	松山	北条	城川	福岡	広島	三重
県内	男	1	6	1		1			2	1	1	13	2	1	3		6		1			
	女				4		2	3				9				1	5	3				
県外	男			1	1						1	3								1	2	
	女				1							1										1
計		1	6	2	6	1	2	3	2	1	2	26	2	1	3	1	11	3	1	1	2	1

表2　学校別進学状況

種校	松山理美容高等	総合高等職訓校	済美高	東雲高	聖カタリナ高校	帝京高校	新田高校	小田高校	内子高校	八幡浜 工業	八幡浜 普通	大洲農高 生活	大洲農高 農業	大洲高 商業	大洲高 普通	高校名
男	0	5	0	0	0	0	1	4	5	2	1	0	1	0	2	
女	1	1	1	1	2	1	0	7	4	0	0	1	0	2	1	
計	1	6	1	1	2	1	1	11	9	2	1	1	1	2	3	

郵政省認定アマチュア無線技士養成講習会

○開催日―四月十八日～五月十三日（月　火　木　金）まで

○時間―午後六時三〇分～九時四五分まで、但し五月三日と五日は午前九時～四時三〇分まで。

○場所―肱川町公民館

※くわしくは堀和明氏までお問合せ下さい。（肱川局二二〇六）

村内一円に無線放送網が完成

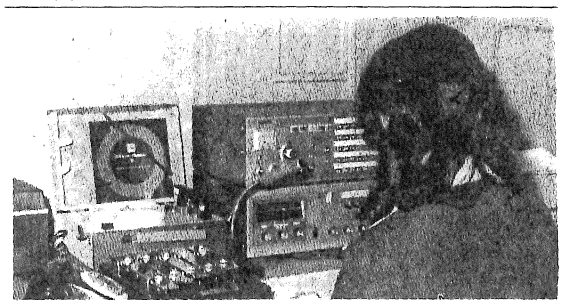
山間部の不便さを解消しようと、第二期山村地域農林漁業特別対策事業の一環として進められていた無線放送施設がこのほど完成した。

従来の有線施設は、送信機の故障や有線部分の損傷がたびく起こり、音質も悪いなど住民から不満がでていた。

このたび完成した放送施設は超高感度の電波を利用したもので、本部（送信機）を農協に設置し、村内三十二ヶ所に受信所（受信機）を設けている。

また、各受信所からは独自の放送ができるようマイクロホンも取り付けてある。この利用方法は三名の放送担当者を設置し、区長と部落長が合議の上で放送できるなど便利な設備になっている。

四月からは、農事に関する情報や村内の行事に関するおしらせ、くらしの一口メモ・・・等、あらゆる情報を提供し地域生活に密着したものになりそうである。



地域別行事

四月の行事

1日～役員改選（露　内）
3日～部落花見（橡　谷）
4日～お伊勢おどり・部落総会・花見（大　成）
〃～花見（露　内）
〃～おこもり（寺　籔）
〃～花見（熊之坂）
5日～花見（坂　本）
21日～大師様接待（日の平）
〃～（鴨　谷）
未定～部落総ごもり（植　松）
〃～花見（川　崎）
〃～部落役員改選・おこもり（稲　谷）
〃～春ごもり（長　崎）
〃～部落役員改選（日　除）

五月の行事

〃～（川　崎）
〃～（百合谷）
〃～（川　上）
未定～花見（竹の瀬）

ふるさとのみなさん お元気ですか

高松市　藤田勘主計

希望に燃えて憧れて
幾山河は越えたれど
いく山河は　空遠し

親はらからもいつか逝き
語りし友も今は消え
また春秋はめぐれども

越えねばならぬ人の世の
幾山河はまだ遙か
幾山河は　空遠し

この詩は「私の履歴書」四十八巻音楽家古賀政男先生の「幾山河」と題する自作の詩だそうですが、音楽に無知な私にとりましても先生の琴線にふれた思いがしまして筆をとりました。

故郷河辺村をあとにして生活の道を求めて、大阪へそして高松へ移りましてから、十数年の歳月は夢のように過ぎ去りました。私も高松市高松町一二六一番地に新居を四年前に移し、土地一〇〇坪建物二十五坪、誠にささやかな住居を構えました。明年五月で満六十才を迎えます。私は現在大和ハウス工業に勤務し、屋島ハイツ部落三百余世帯の自治会長を昨年に引続き勤め、高松市長委嘱に依り市防犯委員、体育委員を勤めています。幸いにして妻富子も壮健で働いております。

長女月子は三年前に結婚、次女純枝は香川県庁に奉職、三女真弓は本年三月短大卒業見込み。長男航並は高校在学中。これが我家の近況です。

さてご設問の「ふるさとに望む」についてでありますが、いろく、考えられることはありましても、いわゆる自治そのものが、住民の自然発生的な動向、ないしは他の自治体との連携上の問題もあり、即見即断することは避けたいと存じます。ただお祈りしたいことは、いつも進んで何事かやろうと云う熱意を変えないことだと思うのであります。

村民の皆さんと同様に、いつ果てるか分りませんが、私は毎日を精一杯働いております。

最後に村民の皆さんへ無限の感謝を申し上げて筆を置きたいと思います。

やねばし

◎毒入りコーラやチョコレートで、無差別殺人を企てて快を感じているような非人間もいる。ピストルや日本刀で経団連事務所におし入り、数人を人質にして立てこもり、世の人に不安と恐怖とを与えるような人間も出てくる物騒な世の中となった。

◎日本人を懲らしめてやるのだ、企業家の営利主義をやめさせるのだと力んでみても、その手段が悪質なところに問題がある。

◎目的と手段を考えるのが　てあり、手段を選ばないのが動物である。人間が動物と同様になったのでは困る。連帯性をもつ我々社会人は非常に迷惑する。暴力は猛獣の牙に等しい。猛獣を追いはなちにしたのでは堪えられない。

◎たとえ牛の歩みとケナされても、まわりくどいといわれても、月日をかけての努力がほしい。そのような粘りのある社会人であってほしい。

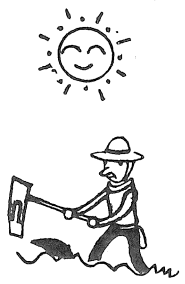
◎目的はたとえ立派でも、手段を誤ると三文の値うちもなくなることを肝に銘じ、全社会人が行動すれば世の中は平穏である。

◎犠牲に立つ人の心は分かる。だが犠牲に立つほどの合法的努力があれば、いたずらに犠牲に立つべきではない。世の人の称賛を得るような犠牲であってほしい。神人ともに許すような犠牲はザラにはない。冷静な判断、目的達成の手段の考慮を欠くところに真の犠牲はない。

◎現代の世の中は常識的行動が要請される。現今社会人の中には、非常識な行動に出る人が多くなった。教育や軽卒な社会風潮の再吟味の時は、既に遅きに失している。

（N）

あすの農作業



稲作

◎硅カルの施用

水田の土づくりには、有機質の補給と硅カルなどの土壌改良資材の施用が必要です。硅カルを施用すると、土地の酸性をなおし、微量要素の補給となります。また稲は茎葉が堅くなり、病害虫にかかりにくくなります。この結果として安定多収、良質米の生産が可能となるので、四月の農閑期に一〇アール当り一五〇キログラムを施しましょう。

◎種もみ消毒

米の安定多収は、まず種の良いものを選び、なお、もみ消毒などの種子予措を充分行うことが第一歩です。

種子消毒は、種子の表面に附着しているいもち病、ばかなえ病などの菌類を殺して、苗での発病を防ぐ効果があります。消毒の薬剤としては、ベンレートT水和剤を使用します。この薬は種子の表面について効果が出るので、消毒後は決して水洗いしないことです。消毒方法は塩水選。水に四日～五日間浸漬後、ベンレートT四〇〇倍液に一日～二日間つけて消毒し、水洗いせずに種まきをして下さい。なお消毒中には、二～四回は液を良く混ぜて、籾に液が良く着くようにして下さい。

栗

◎、クリのつぎ木

春つぎの時期は樹液が流動しはじめた四月上旬から五月上旬が適期です。方法では、切りつぎ法と腹つぎ法があります。腹つぎは秋つぎの要領でつげますので誰でも簡単にできます。

春つぎは秋つぎと異なり、穂木を前もって（二月中、下旬頃）取り、貯蔵したものでなければつげ難いものです。穂木をビニール袋で貯蔵している方は、一度袋の封を開けたものは、その日の内に使うということが原則ですから、このことには充分に注意して下さい。開封後一日半以上経過すると穂木が乾燥しすぎ、つげないことが多いものです。

また、つぎ木後活着したからといってビニールテープを取り除くと、せっかくつげたものでも枯れることがありますので注意して下さい。

◎、クッサンの発生と防除

四月下旬発生し、約十日間程度は黒色で群生しますが、その後脱皮して色が変り、六月上、中旬には緑白色の大きな毛虫となります。防除の時期は五月上旬、葉裏で群生している時、デプテレックスを散布することが最も効果的です。前年発生したクリ園では特に注意して下さい。

（大洲農業改良普及所）

婦人会が老人ホームを慰問

さかんな拍手をうけて

村連合婦人会（清水会長以下二十五名）は去る二月十二日、長浜町白滝老人ホーム白山園をたずね、すっかり顔なじみとなったホームの人々と一年ぶりの再会をした。

各分会より持ちよった紅白の餅や、ミカンのおみやげを手わたした後、この日のために一生懸命練習した踊りや歌、即席の寸劇などを披露して盛んな拍手を受けた。

また、おとしよりからお返えしにと、毎日レクリェーションの時間で習っている踊りを披露され、慰問した婦人会員もただく感心するばかりだった。

～体力づくりをめざして「健康の鍵」運動はじまる～

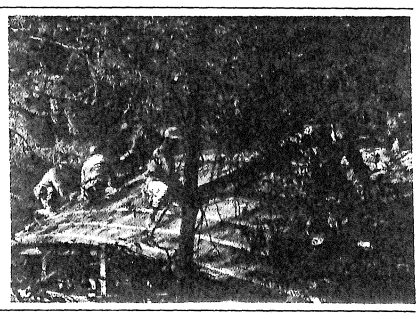
このたび県スポーツ振興事業団では、みなさんの健康、体力づくり推進のため、日常生活の中で手軽にできる運動を継続的に実施することを奨励し、運動の生活化を図ることをねらいとした「健康の鍵」運動が展開されることになりました。

実施希望者は十五才以上（学生、生徒は除く）の人であればだれでもよく、日常生活の中で手軽にできる（歩く、かける、なわとび、体操、キャッチボール、階段登り・・・）十七項目による運動基準表に従って所定の記録カードに点数を毎日記入する方法です。

年間一二〇日以上継続的に実施し、年代別目標得点を達成した人には、その努力をたたえ達成証ならびに健康バッジが交付されます。

◎なお、くわしくは公民館におい合せください。

文化財を大切に！



去る一月二十六日「文化財防火デー」を迎え、この日を契機として火災、その他の災害から守り、住民の文化財愛護思想の高揚を図るため、村の文化財保護審議会委員など九名が、指定文化財十一件の現状を視察した。

この視察を終えて検討された点をひろってみると、

一、まず、指定文化財の周囲をきれいにするよう住民のすべてが心がけ、このことを一般に呼びかける必要がある。

二、五二年度において、あらたな指定候補の検討をおこなう。

三、天然記念物などの周囲に防護柵を設置して保護をおこなう。

などの申し合せがおこなわれた。

また、今年度の事業としては「御幸の橋」と「虚空蔵菩薩堂」の屋根が破損し、雨もりしていたものを、このほど県および村の補助金と地元の献身的な奉仕によって、屋根の修復作業がおこなわれ、りっぱに再現することができた。

おねがい!!

村民の一人くが文化財愛護のため、周囲の環境美化等にご協力くださるようお願いします。

登記時の手数料が改正

登記所では、みなさまから土地や建物又は会社や組合等について「謄抄本」又は「閲覧」の請求があれば、手数料を印紙で納付していただき、これに応じておりますが、三月一日からその手数料（登記手数料令）が改正され次のようになりました。

一、登記簿の謄抄本　一通　三百円但し(1)十枚以上のときは五枚ますごとに百円を加算

(2)商号、支配人登記簿の抄本は一通百円

二、閲覧　一筆　百円

三、各種証明　一件　百円

（注）資格証明も一通　百円

詳しくは窓口でお尋ね下さい。

（松山地方法務局肱川出張所）

まごころ銀行からお礼

昭和五十一年四月から昭和五十二年一月までに、香典返しにかえて村社会福祉協議会まごころ銀行へ、次の方々より多額のご寄附をいただきましたので、ご報告申し上げますと共に、この尊いご芳志の趣旨を広く社会福祉のために、やく立てるよう努力いたしたいと思います。

合計金額一五六四、一六〇円也

佐伯菅美殿・新満夫殿・清水孝殿・関井一殿・上岡一殿・本竜賢宗殿・岩井石雄殿　以上七名

たいへん御礼がおそくなりましたが、紙上より厚くお礼申し上げます。

（河辺村社会福祉協議会）

みんなの広場

河辺小六年　船田裕美

私達が入学したのは、昭和四十六年の春である。さくらの花がまんかいのころ、入学することを楽しみに、いつもランドセルをしょってはしゃいでいたものだ。ついこの間のように思いだす。

あの日から五年間あっという間に過ぎていってしまったのだ。そしてこの前六年生になったとばかり喜んでいたのに、はや私達が卒業をひかえようとしている。まるでゆめでも見ているようだ。ふり返ってみれば、この六年間にはいろいろなことがあったなあ。うれしいことや悲しいこと、でもやはり小学校最後の仕上げの六年生の一年間が印象深い。なぜだろうか。私達を見守ってくださった先生がた、私達がぶじにここまですくすくと育ったのは、先生がたのおかげだ。雪の中も風の中も元気にこの小学校に通ったのだ。しかし、もうこの小学校ともおわかれだ。私達にとって、この小学校の先生ほどやさしい先生は他にはいないと思う。やさしく、また、スポーツマンといってもいいような松家先生に、私達は小学校の仕上げをおそわった。二時間後の遊び時間には少々の雪であろうと、マラソンをひっしでがんばった。どうしてしなくてはならないのだろうと何度も思う時があったが、やっていくうちに、マラソンは苦しいだけあって本当に体にいいものだと思うようになった。ときどき苦しくなると途中で歩いたりした。先生が、「こらー」とどなる。「ありゃりゃ、みつかったか」とまわりの人と言いながら走るのであった。六年の教室から、いろいろなものをなげてきた。しんしんと降る雪まぶしくさしこんでくる太陽の光。ドウドウと流れる大雨のあとの水しぶき。この教室の窓からこれらをながめることはもうないだろう、でも私にはこの教室の窓からながめたけしきはいつまでも忘れることはできないでしょう。

母校よさようなら

大伍小六年　佐々木真由美

今年で、大伍小学校もなくなってしまう。人数が少ないため、統合するのだ。学校が建てられてから、二十二年間、わたしたちのため、つくしてくれた学校。なんとなくさびしい気がしてならない。この学校にもいろいろと思い出がある。六年の時の楽しかった修学旅行、一年から六年までの楽しかった遠足、こんな思い出は、数えきれないほどある。この学校がなくなると、五年以下のみんなは、スクールバスで河辺小まで毎日通わなければならない。わたしは、統合することはいいと思った。たくさん友達ができるし、勉強も楽しくなるだろう。しかし、始めのうちは、知らない同志であまり楽しくないだろう。そんなことのないように、はやく友達を作らないといけない。わたしも中学生になる。何かとわからないこともあるだろう。でも、はやく友達を作り、楽しい学校生活にしようと思う。この大伍小は、わたしにとっても、みんなにとっても、たくさんの思い出のある所である。こんな大事な学校がなくなってしまうのは、とても残念だ。こんな、さまざまな思い出を大切にしまっておきたい。そして、これからも、今までのように、明るく、正しい行いをしてがんばりたいと思っている。これからも、この学校は、いろいろ役に立つだろう。五年以下のみなさん、そして、新らしくはいってくる一年生、勉強、げみ、また、遊ぶのも元気にやってください。わたしたち六年生も、今まで習った勉強をいかして、学習にがんばりたいと思っている。それに、運動にもはげんで、りっぱな中学生になるよう、努力したいと思っている。

"大伍小学校よさようなら"。

〈芸〉

俳句

佐伯範男

隣席に孫と相似る幼児居て
しきり聞こえ来「じいちゃん
ばあちゃん」の名が
夕陽光まともにうけし石鎚の
こいしきまでの雪の真白さ

清水菊江

長かりし寒波漸く去り行けば
庭の白梅　蕾ふくらむ
亡き母の大事に育てし
チューリップ雪消え見れば
芽ぶき始めおり

中本文江

病む母を水仙活けし部屋に残し
バス停へ急ぐわが胸病む
もどり寒行きつもどりつ
春に負け　野越え山越え
いづこ行きしか

短歌

角藤政千代

酌み交す花の宴に
惜しむもの
春愁や赤字路線の
一人客

〈文〉

消息

（自 52・1・1　至 52・3・1011）

（出生）おめでとうございます

川崎父勇　小川博美
神納〃福美　土居美佐
下大成〃定幸　宮下誠
百合谷〃国太郎　花岡清超

（結婚）末ながくお幸せに

（露内進（露内）　井上テル子（横山））
（中岡増夫（中大成）　和泉チエ子（内子））

（死亡）おくやみ申し上げます

名場連　田丸有次郎（九四才）
熊の坂　中山喜太郎（八八才）
用の山　中野キヌヨ（八四才）
川崎　岩井オツヤ（八八才）
日其川　寿野喜美男（四五才）
寺籔　梅木コイノ（九五才）
川崎　小川フクヨ（五七才）
坂本　西岡キクヨ（八五才）